

外科専門研修プログラム

平成30年度

東京女子医科大学東医療センター

1. 東京女子医科大学東医療センター外科専門研修プログラムについて

東京女子医科大学東医療センター外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の4点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

2. 研修プログラムの施設群

東京女子医科大学東医療センターと連携施設（12施設）により専門研修施設群を構成します。

本専門研修施設群では 18名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

専門研修基幹施設（資料1. 東京女子医科大学東医療センター施設紹介 参照）

No.	氏名	所属	都道府県	医療機関コード			役職	指導担当分野 1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科 5:乳腺内分泌外科 6:その他（救急を含む）	役割 1:統括責任者 2:副統括責任者 3:連携施設担当者
				18	1199	1			
1	成高義彦	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科教授	1	1, 3
2	中野清治	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	心臓血管外科教授	2	2
3	前 昌宏	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	呼吸器外科臨床教授	3	
4	川島章子	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科助教	4	
5	平野 明	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	乳腺診療部准教授	5	
6	勝部隆男	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科臨床教授	1	
7	島川 武	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科准教授	1	
8	塩澤俊一	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科准教授	1	
9	横溝 肇	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科講師	1	
10	山口健太郎	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科講師	1	
11	碓井健文	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科准講師	1	
12	久原浩太郎	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科助教	1	
13	小倉 薫	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	乳腺診療部准講師	5	
14	岡山幸代	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	外科助教	1	
15	清水俊榮	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	呼吸器外科助教	3	
16	青島宏枝	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	呼吸器外科助教	3	
17	佐藤敦彦	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	心臓血管外科助教	2	
18	浅野竜太	東京女子医科大学東医療センター	東京都	18	1199	1	心臓血管外科助教	2	

専門研修連携施設（資料 2. 連携施設紹介 参照）

No.	氏名	所属	都道府県	医療機関コード			役職	指導担当分野 1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科 5:乳腺内分泌外科 6:その他（救急を含む）	役割 1:統括責任者 2:副統括責任者 3:連携施設担当者
				21	22	0			
1	今野宗一	西新井病院	東京都	21	1229	0	外科部長	1	3
2	白田敦子	西新井病院	東京都	21	1229	0	外科医員	1	
3	矢川裕一	西新井病院	東京都	21	1229	0	外科顧問	1	
4	藤本崇司	西新井病院	東京都	21	1229	0	外科医員	1	
5	山崎勝雄	いずみ記念病院	東京都	21	7123	1	病院長	6	3
6	中島 修	いずみ記念病院	東京都	21	7123	1	外科部長	1	
7	村山 実	いずみ記念病院	東京都	21	7123	1	外科診療部長	1	
8	松本敦夫	滝不動病院	千葉県	28	1220	4	外科部長	1	3
9	宮木 陽	流山中央病院	千葉県	23	1045	6	外科部長	1	3
10	服部晃典	川口誠和病院	埼玉県	02	0734	0	外科部長	1	3
11	三井幾東	西新井ハートセンター病院	東京都	21	7132	0	主任部長	2	3
12	野地 智	東大和病院	東京都	46	1551	4	病院長	2	3
13	館林孝幸	東大和病院	東京都	46	1551	4	副院長	2	
14	相馬裕介	東大和病院	東京都	46	1551	4	外科医員	1	
15	佐藤光史	東大和病院	東京都	46	1551	4	理事長	1	
16	木村孝志	東大和病院	東京都	46	1551	4	消化器センター長	1	
17	木庭雄至	東大和病院	東京都	46	1551	4	消化器外科科長	1	
18	室谷 研	東大和病院	東京都	46	1551	4	外科医員	1	
19	松尾定憲	東大和病院	東京都	46	1551	4	乳腺科科長	5	
20	川本 健	東大和病院	東京都	46	1551	4	外科医員	1	
21	服部浩次	東大和病院	東京都	46	1551	4	外科医員	1	
22	坂本嗣郎	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	65	0724	8	病院長	1,6	
23	金 達浩	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	65	0724	8	外科部長	1,6	3
24	金 直美	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	65	0724	8	外科医長	5	
25	浅香晋一	彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県	65	0724	8	外科部長	1,6	
26	渡辺 修	三和病院	千葉県	24	1607	1	病院長	1,5	3
27	渡辺英二郎	三和病院	千葉県	24	1607	1	外科部長	1	
28	吉松和彦	埼玉県済生会栗橋病院	埼玉県	11	0192	2	外科統括部長	1	3
29	伊藤嘉智	埼玉県済生会栗橋病院	埼玉県	11	0192	2	外科科長	1	
30	斎藤由理	中通総合病院	秋田県	01	1120	6	外科科長	1	3
31	会澤雅樹	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県	01	1606	2	消化器外科部長	1	3

3. 専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の3年間NCD登録数は 13,740 例で、専門研修指導医は 18名のため、本年度の募集専攻医数は **6～7名**です。

4. 外科専門研修について

- 1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。
- 3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。

- 専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
- サブスペシャルティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャルティ領域専門研修の開始と認める場合があります。サブスペシャルティ領域連動型については現時点では未定です（2015年7月）。
- 研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。（専攻医研修マニュアル-経験目標2-参照）
- 初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCDに登録されていることが必須）は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。

2) 年次毎の専門研修計画

- 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。
- 専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- 専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。
- 専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャルティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

下図に基幹施設の東京女子医科大学東医療センター外科研修プログラムを示します。専門研修1年目は基幹施設、専門研修2,3年目は連携施設で外科系研修を受けます。

ローテーションする3施設が異なる医療圏に存在することもあります。

1年次	2年次	3年次	4年次以降
基幹施設	連携施設A	連携施設B	基幹施設
外科専門研修			サブスペシャリティー
消化器外科	外科一般	外科一般	
心臓血管外科			
呼吸器外科			
乳腺外科			
内分泌外科			
小児外科	サブスペシャリティー領域など専門研修		
			外科専門医試験

東京女子医科大学東医療センター外科研修プログラムでの3年間の施設群ローテーションにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

当外科研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります（未修了）。一方で、カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始します。

・専門研修 1年目

基幹施設の東京女子医科大学東医療センターで研修を行います。

消化器・一般外科/心臓・血管外科/呼吸器外科/乳腺外科/小児外科をローテーションし、救急疾患も随時経験します。

経験症例 120例以上（術者 50例以上）

・専門研修 2, 3年目

連携施設群のうちのいずれかの施設に所属し研修を行います。

消化器・一般外科を中心に救急/心・血管/呼吸器/小児/乳腺疾患を広く経験

します。

経験症例 350例以上/2年 (術者 120例以上/2年)

- ・サブスペシャリティ領域などの専門医取得をめざした研修を行います。
3年次からはサブスペシャリティ領域（消化器外科，心臓・血管外科，呼吸器外科，乳腺外科、内分泌外科、小児外科）または外科関連領域（外傷外科など）の専門研修を開始します。
- ・大学院への進学を希望する者は，臨床研究または学術研究・基礎研究を開始します。ただし，研究専任となる基礎研究は6か月以内とします。

3) 研修の週間計画および年間計画

○基幹施設の週間計画 (資料1を参照)

○連携施設の週間計画 (資料2を参照)

○研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	・外科専門研修開始. 専攻医および指導医に提出用の資料配布 ・日本外科学会参加 (学会発表)
5	・研修修了者: 専門医認定審査申請・提出
8	・研修修了者: 専門医認定審査 (筆記試験)
11	・日本臨床外科学会参加 (学会発表)
2	・専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例報告用紙の作成 (年次報告; 書類は翌月に提出)
	・専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成 (書類は翌月に提出)
	・指導医, 指導責任者; 指導実績報告用紙の作成 (書類は翌月に提出)
3	・その年度の研修終了
	・専攻医: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出
	・指導医, 指導責任者; 前年度の指導実績報告用紙の提出
	・研修プログラム管理委員会開催

5. 専攻医の到達目標 (習得すべき知識・技能・態度など)

- 専攻医研修マニュアルの到達目標1 (専門知識)、到達目標2 (専門技

能)、到達目標3(学問的姿勢)、到達目標4(倫理性、社会性など)を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得(専攻医研修マニュアル-到達目標3-参照)

- ▶ 基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
- ▶ 放射線診断・病理合同カンファレンス：手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比いたします。
- ▶ Cancer Board：複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
- ▶ 基幹施設と連携施設による症例検討会：各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年1月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。
- ▶ 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- ▶ 大動物を用いたトレーニング設備や教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- ▶ 日本外科学会の学術集会(特に教育プログラム)、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。
 - ◇ 標準的医療および今後期待される先進的医療
 - ◇ 医療倫理、医療安全、院内感染対策

7. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決し得ない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらにえられた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけま

す。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。（専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照）

- ▶ 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加する。
- ▶ 指定の学術集会や学術出版物に、筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表する。

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて（専攻医研修マニュアル-到達目標 3-参照）

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

- 1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること（プロフェッショナルリズム）
 - ▶ 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。
- 2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること
 - ▶ 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。
 - ▶ 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。
- 3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること
 - ▶ 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。
- 4) チーム医療の一員として行動すること
 - ▶ チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。
 - ▶ 的確なコンサルテーションを実践します。
 - ▶ 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。
- 5) 後輩医師に教育・指導を行うこと
 - ▶ 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。
- 6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること
 - ▶ 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践しま

- す。
- ▶ 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
 - ▶ 診断書、証明書が記載できます。

9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

本研修プログラムでは東京女子医科大学東医療センターを基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成してします。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では稀な疾患や治療困難例が中心となりcommon diseasesの経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うことが非常に大切です。東京女子医科大学東医療センター外科研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、東京女子医科大学東医療センター外科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験（専攻医研修マニュアル-経験目標3-参照）

地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- ▶ 本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能です。
- ▶ 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
- ▶ 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

10. 専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル-VI-参照）

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアルVIを参照してください。

11. 専門研修プログラム管理委員会について

基幹施設である東京女子医科大学東医療センターには、専門研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。東京女子医科大学東医療センター専門研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の4つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。

12. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘル스에配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

13. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録に基づいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をしま

す。

14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件

専攻医研修マニュアルVIIIを参照してください。

15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

研修実績および評価の記録

日本外科学会のホームページにある書式（専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録）を用いて、専攻医は研修実績（NCD登録）を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

東京女子医科大学東医療センター外科にて、専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

●専攻医研修マニュアル

別紙「専攻医研修マニュアル」参照。

●指導者マニュアル

別紙「指導医マニュアル」参照。

●専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。

●指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

16. 専攻医の採用と修了

○採用方法

東京女子医科大学東医療センター外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年7月から説明会等を行い外科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、9月30日までに研修プログラム責任者宛に所定の形式の『東京女子医科大学東医療センター外科専門研修プログラム応募申請書』および履歴書を提出してください。なお、申請書は

(1) 東京女子医科大学東医療センターのwebsite (<http://www.twmu.ac.jp/DNH/>)

よりダウンロード(平成29年10月中に掲載予定です)

(2) 電話による問い合わせ(03-3810-1111(代表)、当センター内の卒後臨床研修

センター担当者まで)

(3) e-mailによる問い合わせ (sotugojm@dnh.twmu.ac.jp)

のいずれの方法でも入手可能です。なお、専攻医の日本専門医機構への登録と当プログラムへの応募期間は以下の日程を予定しています。

(一次登録)

- ・平成29年10月1日～11月15日 専攻医による登録期間
- ・平成29年11月16日～11月30日 採用確認・調整期間
- ・平成29年12月1日～12月15日 当プログラムの採用期間

(二次登録)

- ・平成29年12月16日～平成30年1月31日 専攻医による登録期間
- ・平成30年2月1日～平成30年2月14日 採用確認・調整期間
- ・平成30年2月15日～平成30年2月28日 当プログラムの採用期間

上記日程に準じて書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に文書で通知します。応募者および選考結果については12月の東京女子医科大学東医療センター外科専門研修プログラム管理委員会において報告します。

○研修開始届け

研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局および、外科研修委員会に提出します。

- ・専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・専攻医の履歴書（様式15-3号）
- ・専攻医の初期研修修了証

○修了要件

専攻医研修マニュアルを参照してください。

基幹施設：東京女子医科大学東医療センター

〒116-8567 東京都荒川区西尾久 2-1-10

TEL 03(3810)1111, FAX 03(3894)0282

URL <http://www.twmu.ac.jp/DNH/>

[1] 外科・小児外科

1. 地域における役割と施設の特徴

当外科は地域に密着した幅広い医療と大学病院としての特徴を生かした高度先端医療の提供の両立を目指しています。各診療領域の専門医のもと、手術手技の修得のみにとどまらず、各種内視鏡等の検査手技から術前診断、さらに化学療法まで、術前・術後を通した一連の診断・治療が行える優れた臨床医の育成を目指したカリキュラムを組んでおります。また、現医局員の3分の1以上が女性外科医のため、女性外科医のライフイベントも考慮した働きやすい職場作りにも配慮しています。外科のチームは全体で約20名のスタッフからなり、それは「食道・胃」、「胆道」、「大腸・肛門」、「小児外科」および「乳腺」の各専門領域の臨床グループで診療および研究活動を行っています。当科の研修ではすべてのチームをローテートし幅広く消化器外科および乳腺外科を学び、外科に入局した後は5～6年目に自分の専門領域を決定するようにしています。これらの臨床グループが主体となり学会、研究活動にも力を注いでおり、各外科系の学会には毎年多くの演題を出しています。また、チーム医療の実践のため、外来化学療法、緩和医療、栄養サポートといったカテゴリーで外科医師が質の高い医療の提供を目指すことを目的にこれらのチームの中心的役割も果たしています。最終的には外科の手術手技や術後管理の修得のみならず、外来での患者フォローアップ、終末期医療まで全人的な医療を目指しています。

2. 指導医・外科スタッフ (15名)

成高義彦 診療部長・教授	山口健太郎 講師	山田泰史 助教
勝部隆男 臨床教授	碓井健文 准講師	河野鉄平 助教
島川 武 准教授	久原浩太郎 助教	川島章子 助教
塩澤俊一 准教授	矢野有紀 助教	土屋晶義 助教
横溝 肇 講師	岡山幸代 助教	関千寿花 助教

- ・外科専門医 34名, 同 指導医 15名
- ・消化器外科専門医 20名, 同 指導医 10名

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

① 患者数(2015年実績)

のべ入院患者数 消化器外科 1,256人、乳腺外科 272人
 のべ外来患者数 消化器外科 19,838人、乳腺外科 11,329人

② 許可病床数

外科 71床(うち乳腺外科 5床)

③2013-2015年のNCD登録数(消化器外科手術)

	施設全体	経験可能数
2013年	669件	
2014年	658件	
2015年	794件	
平均	707件	600

④ 症例別経験可能数(術者または助手として最大限、経験可能な手術数。専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合もあります)

症例	手術数	術者として	助手として
食道癌	25件	0件	25件
胃癌	100件	10件	90件
大腸癌	180件	20件	160件
肝胆膵癌	60件	5件	55件
胆嚢結石症	80件	70件	10件
ヘルニア	70件	50件	20件
救急疾患(急性虫垂炎/消化管穿孔/腹膜炎など)	40件	20件	20件
小児外科疾患	20件	10件	10件
その他 体表小手術など	25件	25件	0件
	件	件	件
合計	600件	200件	400件

⑤ 取り扱っている疾患の特徴

- 1) 消化器外科領域では良性疾患(胆石症、腸閉塞、ヘルニアなど)から悪性疾患、とくに専門性の高い消化器癌(食道癌、胃癌、大腸癌、肝胆膵癌)の手術まで幅広く行っています。また、緊急性の高い救急疾患(急性虫垂炎、消化管穿孔/出血、腹膜炎など)にも随時対応しています。
- 2) 小児外科領域では鼠径ヘルニア、急性虫垂炎を中心とし、鏡観下手術にも力を入れています。

- 3) 手術療法以外の治療では、食道静脈瘤に対する硬化療法、早期食道癌、胃癌、大腸癌に対する内視鏡的粘膜切除/剥離術(EMR, ESD)、総胆管結石に対する内視鏡的切石術(EPBD/EST)、肝癌に対する経カテーテル的肝動脈化学塞栓術(TACE)も外科で行っており、手術以外の消化器疾患の治療法の習得も可能です。

4. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～	部長回診							
8:00～	診療グループ別回診①							
16:00～	診療グループ別回診②							
17:00～(第2月曜)	消化器病合同カンファレンス							
19:00～(第3月曜)	抄読会							
17:00～(第4月曜)	キャンサーボード							
17:30～	術前検討会							
9:00～	手術							
9:00～	消化器系検査/治療(内視鏡・血管造影検査)							

5. 診療実績

- 1) 良性疾患(胆石症 80 例、腸閉塞 15 例、鼠径ヘルニア 80 例、など)
- 2) 悪性疾患(食道癌 25 例、胃癌 130 例、大腸癌 180 例、肝胆膵癌 60 例、など)
- 3) 救急疾患(急性虫垂炎 20 例、腸閉塞 15 例、消化管穿孔/腹膜炎 15 例、など)
- 4) 小児外科疾患 15～20 例
- 5) 内視鏡治療(食道静脈硬化療法 50 例、胃粘膜切開剥離術 20 例、大腸粘膜切開剥離術 15 例、総胆管結石切石術 40 例、胆道ドレナージ 50 例、など)
- 6) 血管内治療(経カテーテル的肝動脈化学塞栓術 50 例)
- 7) CV ポート挿入 20 例
- 8) 消化器癌外来化学療法 1,250 例

[2] 心臓血管外科

1. 地域における役割と施設の特徴

区北東部二次医療圏において、唯一三次救急、周産期治療など超急性期治療を行える中核病院であり、急性期医療を中心とした高度医療を行っています。

2. 指導医・外科スタッフ（5名）

2015年10月現時点で

指導医1名

専門医5名（指導医1名含む）

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

心臓血管外科（呼吸器外科含む）年間延べ入院数

2012年 7633人/年、 2013年 8442人/年、 2014年 7991人/年

②許可病床数

28床（呼吸器外科含む）

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	242件	
2014年	261件	
2015年	189件	
平均	230件	

*2012年はJACVSDからNCD開始時期のため、NCD実登録数は126と少なくなります

④症例別経験可能数(術者または助手として経験可能な手術数を記載；2014年度)

症例	手術数	術者として	助手として
先天性	4件	0件	4件
弁膜症	49件	0件	49件
虚血性（OPCAB）	28件	0件	28件
胸部大血管	7件	0件	7件
TEVAR	2件	0件	2件
腹部大動脈瘤	10件	0件	10件
EVAR	18件	0件	18件

Varix	27件	27件	27件
内シャント	30件	15件	30件
ペースメーカー	14件	14件	14件
その他（上記以外の末梢血管含む）	41件	41件	41件
合 計	230件	128件	230件

⑤取り扱っている疾患の特徴

弁膜症、虚血性、大血管(ステントグラフト)手術

腹部大動脈、末梢血管へ手術（ステントグラフト、PTA、コイリングなどの血管内治療を含む）

心大血管手術から末梢血管手術まで、偏りない症例の経験・研修が可能です。

4. 週間スケジュール

月 8:00 教授回診 9:00 から手術

火 9:15 心臓カテーテル検査

水 8:00 抄読会 9:00 から手術

木 8:00 教授回診、病棟業務

金 8:00 循環器内科・心臓血管外科・呼吸器外科合同カンファレンス

9:00 手術

土 8:30 病棟業務

5. 診療実績

診療責任者としての心臓大血管手術成績（1998年4月－2013年12月）

術式	症例数	病院死亡	死亡率 (%)
冠動脈バイパス	789	6	0.8
弁膜症	690	9	1.3
心筋梗塞合併症	35	3	8.5
解離性動脈瘤	82	9	11.0
胸部・胸腹部動脈瘤	107	3	2.8

腹部動脈瘤	246	5	2.0
先天性心疾患	57	0	0.0
その他	24	0	0.0
不整脈：Maze（他と重複）	109	0	0.0
合計（不整脈を除く）	2136	28	1.3

[3] 呼吸器外科

1. 地域における役割と施設の特徴

東京との城北地区である足立区、荒川区には、地域の特異性として肺癌、胸膜中皮腫という悪性疾患が多く、進行してからの発見例も多くみられます。特に高齢者、在留外国人の方々も多いのですが、当施設では積極的に受け入れています。肺疾患、胸膜疾患、縦隔腫瘍に対して、ほぼ全例で胸腔鏡下手術を行っています。この地域には呼吸器外科専門医および胸腔鏡設備の揃った病院は当施設以外になく、地域の病院・診療所よりご紹介を頂いています。

2. 指導医・外科スタッフ（4名）

前 昌宏 臨床教授

清水俊榮 助教

坂本 圭 助教

高圓瑛博 助教

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

肺癌、転移性肺腫瘍、胸膜疾患（胸膜炎、胸膜中皮腫、気胸）、縦隔腫瘍などが大半を占めています。また、3次救急の受け入れが多いため、胸部外傷の患者も診ることができます。

2014年の実績では、肺癌手術 71 例、転移性肺腫瘍切除 20 例、縦隔腫瘍 9 例、急性膿胸 13 例、気胸および巨大肺嚢胞 44 例でした。

②許可病床数

呼吸器外科として平均 12 床を使用しています。

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	195件	
2014年	177件	
2015年	185件	
平均	186件	160件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載。専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合があります）

症 例	手術数	術者として	助手として
肺癌手術	66件	10件	56件
転移性肺腫瘍	27件	5件	22件
急性膿胸	12件	2件	10件

気胸、気腫性疾患	48 件	16 件	32 件
胸腔鏡下生検等	32 件	18 件	14 件
	件	件	件
合 計	185 件	51 件	134 件

⑤取り扱っている疾患の特徴

緊急例、待機例を問わず治療の適応があれば積極的に受け入れ治療を行っています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	病棟							
13:30-16:00	気管支鏡検査							
9:00-17:00	手術							
8:00-9:00	カンファレンス							

5. 診療実績

2014 年実績

呼吸器外科全身麻酔下手術 176 件、うち胸腔鏡手術 170 件

気管支鏡検査 64 件、気管支ステント留置 3 件、

気管支動脈コイル塞栓術 3 件、化学療法：入院、外来延べ 199 件

[4] 乳腺外科

1. 地域における役割と施設の特徴

荒川区、足立区乳癌検診の一次・二次検診を請け負う中心的役割とともに、全診療科を有する総合病院として併存症をもつ症例も広く受け入れています。

2. 指導医・乳腺外科スタッフ (3名)

平野 明 乳腺診療部部長代行・准教授

小倉 薫 准講師

井上寛章 助教

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

① 患者数(2014年実績)

年間乳癌手術件数 160件

年間良性腫瘍手術件数 20件

② 許可病床数

5床(乳腺外科として)

③2013-2015年のNCD登録数(消化器外科領域)

	施設全体	経験可能数
2013年	184件	
2014年	170件	
2015年	174件	

④症例別経験可能数(術者もしくは助手として最大限、経験可能な手術数を記載。専攻医数とローテーションの期間によって異なる場合もあります)

症例	手術数	術者として	助手として
乳房切除術(乳癌)	40件	30件	10件
乳房部分切除術(乳癌)	100件	20件	80件
皮膚温存乳房切除術(乳癌)	20件	0件	20件
腫瘍核出術(乳腺良性腫瘍)	20件	20件	0件
	件	件	件
合計	180件	70件	110件

⑤ 取り扱っている疾患の特徴

乳癌を中心に乳腺良性腫瘍の治療も行っています。

乳癌に対しては術前・術後化学療法も当科で施行しています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30	病棟回診	■	■	■	■	■	■	
8:30-9:00	病棟業務	■	■	■	■	■	■	
9:00-12:00	外来診療	■	■	■	■	■	■	
9:00-17:00	手術			■		■		
17:00-17:30	病棟回診	■	■	■	■	■		
17:30-18:30	症例カンファレンス	■				■		

5. 診療実績

2015 年実績

乳腺手術例 約 170～180 件

外来化学療法 約600件

連携施設：西新井病院

〒123-0845 東京都足立区西新井本町 1-12-12

TEL 03(5647)1700, FAX 03(5647)1701

URL : <http://nishiarai.or.jp>

1. 地域における役割と施設の特徴

一次、二次救急ほか、災害拠点病院として地域医療を担っています。

一般外科、消化器癌、緩和療法を含め、消化器疾患全般に渡り診療を行っています。
東京女子医科大学東医療センターの関連病院として臨床研修を行うほか、専門性の高い医療を連携し活動をおこなっています。

2. 指導医・外科スタッフ（4名）

外科部長	今野宗一	外科医員	臼田敦子
外科医員	藤本崇司	外科顧問	矢川裕一

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

① 患者数

のべ外来患者数 57,171名、入院患者数 58,801名

② 許可病床数

207床

② 2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	149件	
2014年	176件	
2015年	183件	
平均	169件	件

④ 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
胃癌手術症例	11件	3件	8件
大腸癌症例	31件	5件	20件
肝胆膵癌症例	1件	0件	1件
胆石症	51件	25件	26件
ヘルニア症例	30件	28件	2件

救急疾患症例	34 件	26 件	7 件
その他の手術	11 件	8 件	8 件
	件	件	件
合 計	169 件	115 件	72 件

⑤取り扱っている疾患の特徴

消化器外科として消化器癌（胃癌、大腸癌、肝癌、膵癌、胆道癌）などから、良性消化器疾患（消化管出血、炎症性腸疾患、ヘルニア、一般外科）、他救急疾患（急性虫垂炎、消化管穿孔、腹膜炎）を中心に診療に当たっています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～9:00	病棟回診							
9:00～12:0	上部内視鏡検査							
13:30～17:00	下部内視鏡検査							
9:00～	病棟業務							
9:30～17:00	手術							
13:30～17:00	手術							
18:00～18:30	病棟回診							
	術前カンファレンス							

5. 診療実績

施設基準届け出手術件数

経皮的冠動脈ステント留置術： 225 件

冠動脈、大動脈バイパスおよび体外循環を要する手術：36 件

経皮的冠動脈形成術、血栓切除術：12 件

PM 移植および PM 交換：47 件

水頭症手術：9 件

頭蓋内腫瘍摘出術：1 件

鼓室形成術： 1 件

黄斑下手術、肺悪性腫瘍手術、

経皮的カテーテル心筋焼灼術、靱帯断裂形成術、鼻副鼻腔悪性腫瘍手術など

尿道形成術、角膜移植術

連携施設：埼玉県済生会栗橋病院

〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門 714-6

TEL 048(052)3611, FAX 048(052)0954

URL : <http://www.saikuri.org>

1. 地域における役割と施設の特徴

医療現場で働く喜びを自覚し、医療を通して社会と地域に貢献するという理念のもと、2011年に地域救急センターを開設し、2.5次ともいえる救急医療に積極的に取り組み、地域住民に質の高い医療を提供しています。施設の特徴として当院は東京女子医科大学の特定関連病院として位置づけられ、原則として医師は同大学から派遣されています。このため診療スタッフは常に最新医療を導入する姿勢を持ち続け、診療とともに臨床研究にも力を注いでいます。救急疾患から専門性の高い疾患の治療まで、さまざまな臨床研修が可能な施設です。

2. 指導医・外科スタッフ（6名）

診療技術部長	小池太郎	外科統括部長	吉松和彦
呼吸器外科副部長	宮野 裕	外科部長部長	伊藤嘉智
外科責任医長	今泉理枝		

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

① 患者数（2015年度実績）

一日平均外来患者数 690人 一日平均入院患者数 289人

② 許可病床数

329床（一般325床・感染病床4床）

③ 2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	827件	
2014年	698件	
2015年	803件	
平均	776件	257件

④ 症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
ヘルニア根治術（腹腔鏡・前方アプローチ）	55件	30件	25件
虫垂切除術（腹腔鏡・開腹）	30件	15件	15件
胆嚢摘出術（腹腔鏡・開腹）	45件	15件	30件
結腸切除術（腹腔鏡・開腹）	45件	10件	35件
胃切除術（腹腔鏡・開腹）	22件	2件	20件

人工肛門造設術	5件	3件	2件
乳腺手術	10件	5件	5件
胸腔鏡下手術	15件	5件	10件
末梢血管手術	15件	5件	10件
腫瘍摘出術	15件	10件	5件
合 計	257件	100件	157件

⑤取り扱っている疾患の特徴

当院外科は消化器外科・腎不全外科・乳腺外科・呼吸器外科により構成されています。消化器外科では胃・小腸・大腸・肛門・肝胆膵の悪性疾患（胃癌・大腸癌・肝癌・膵癌など）から良性疾患（ヘルニア・胆石症・腸閉塞など）、緊急手術（虫垂炎、急性胆嚢炎、消化管穿孔など）まで、消化器全般の診療・手術を行っています。腎不全外科ではブラッドアクセス手術やカテーテル治療を行い、腎移植も行っています。乳腺外科では乳癌（温存・全摘など）や良性腫瘍の診断・手術を行い、呼吸器外科では主に気胸や肺癌、縦隔腫瘍の手術を行っています。

各領域でプライマリ・ケアから抗がん剤を含めた薬物療法、緩和治療にあたっており、上述疾患の発症初期から終末期までの診療に携わることが可能です。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00 ~ 8:30	抄読会・勉強会							
8:00 ~ 8:30	内視鏡カンファレンス							
8:30 ~ 9:00	朝回診							
9:00 ~	病棟業務							
9:00 ~ 17:00	手術							
16:00 ~ 17:00	手術・病理カンファレンス							
17:00 ~ 17:30	死亡症例カンファレンス							
17:45 ~ 18:00	病棟カンファレンス							
18:00 ~ 18:15	新患カンファレンス							
18:15 ~ 18:30	夕回診							
17:30 ~ 18:00	病棟合同カンファレンス							

5. 診療実績(参考)

※施設基準届出手術件数（2014年1月～12月実績）を示します。

頭蓋内腫瘍摘出術等	(年間症例数:17件)
黄斑下手術等	(年間症例数:0件)
鼓室形成手術等	(年間症例数:13件)
肺悪性腫瘍手術等	(年間症例数:31件)
経皮的カテーテル心筋症灼術	(年間症例数:0件)

靱帯断裂形成手術等	(年間症例数: 4 件)
水頭症手術等	(年間症例数:10 件)
鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	(年間症例数: 0 件)
尿道形成手術等	(年間症例数:38 件)
角膜移植術	(年間症例数: 0 件)
1 歳未満の乳幼児に対する先天性食道閉鎖根治術等	(年間症例数: 0 件)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(年間症例数:45 件)
冠動脈、大動脈バイパス移植術 (人工心肺を使用しないものを含む) 及び 対外循環 を要する手術	(年間症例数: 0 件)
経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈血栓切除術及び 経皮的冠動脈ステント留置術	(年間症例数:480 件)

連携施設：中通総合病院

〒010-8577 秋田県秋田市南通みその町 3-13

TEL 018(833)1122, FAX 018(831)9418

URL : <http://www.meiwakai.or.jp/nakadori>

1. 地域における役割と施設の特徴

中通総合病院は、社会医療法人明和会のセンター病院として、先端医療と高いレベルのチーム医療で最適な治療方法を提供しています。「いつでも、どこでも、だれでも、患者さんの立場に立った親切で信頼される高いレベルの良い医療を行い、地域医療に貢献していきます」という基本理念のもと、365日24時間の救急医療を展開、全科を挙げて救急医療の強化をはかっています。

また、当院の研修は、外科系、内科系のすべての臨床医に必要な基本的な知識、技能および診療態度を身につけ、「病める人」の全体像を捉えることのできる全人的医療の習得を目的としています。

2. 指導医・外科スタッフ（13名）

指導医 5名

専門医 6名

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

外科系（4科） 総入院患者数 24,585人

外科系（4科） 総外来患者数 21,490人

③ 許可病床数

450床（ICU 8床含む）

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	861件	
2014年	913件	
2015年	972件	
平均	915件	252件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
消化管および腹部内臓	171件	100件	71件
乳腺	40件	0件	40件
心臓・大血管	10件	0件	10件
末梢血管（頭蓋内血管を除く）	10件	2件	8件

頭頸部・体表・内分泌外科等	21件	4件	17件
上記の各分野における内視鏡手術（腹腔鏡含む）	52件	30件	22件
	件	件	件
	件	件	件
合計	252件	106件	146件

⑤取り扱っている疾患の特徴

- ・消化器系（主に消化器癌）の一般的疾患を広く取り扱っている。
- ・小児を除く心臓・大血管疾患の殆どをカバーしている。
- ・乳腺については殆どが癌疾患。

4. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00 ~ 8:20	手術記録検討会・抄読会							
8:20 ~ 8:45	緊急入院症例カンファレンス							
8:45 ~ 12:00	午前外来							
9:00 ~ 12:00	病棟業務（火、木は総回診）							
9:00 ~	手術							
14:00 ~ 17:00	病棟業務							
17:00 ~ 18:30	化療・手術カンファレンス							
17:30 ~ 18:30	医局会議、MC							

5. 診療実績

当院での研修は以下の内容を到達目標としています。

- ・主治医として全人的管理を行い、手術手技の向上を目指し、化学療法、緩和医療、チーム医療を実践する。
- ・専門医取得に必要な手術の経験だけでなく、major手術の術者（鏡視下手術では腹腔鏡下胆嚢摘出術の術者）も目指す。
- ・学会発表、論文投稿を積極的に行う。
- ・将来のサブスペシャリティーを見据えた研修内容とする。
- ・消化器外科については、一般外科手術に加え特に内視鏡手術にも力を入れている。

連携施設：新潟県立がんセンター新潟病院

〒951-8566 新潟県新潟市川岸町 2-15-3

TEL 025(266)5111, FAX 025(233)3489

URL：<http://www.niigata-cc.jp>

1. 地域における役割と施設の特徴

当院は新潟県の地域連拠点病院としてがん医療の指導的な立場にあり、外科では消化器外科（食道、胃、大腸、肝胆膵）および乳腺外科の先進的ながん治療を行っています。がん専門の臨床病院として、機能温存の縮小手術のみならず、根治を目指した拡大手術や化学療法にも力を入れています。治療方針は根拠のある標準的医療を提供すること原則としています。がんセンターらしく合併症の少ない手術を行い、良好な治療成績が得られています。必ず経験豊富な専門スタッフが主治医となり、常に同じ熟練医チームが治療を担当します。患者さんから信頼を得ること、最後まで投げ出さず責任をもって対応すること、患者さんと同じ目線ではなしをすることを心がけています。新潟らしく粘り強く、暖かい、思いやりのある医療ができることを喜びとしています。

2. 指導医・外科スタッフ（12名）

1) 消化器外科

土屋嘉昭、藪崎 裕、瀧井康公、中川 悟、丸山 聡、松木 淳、野上 仁、
會澤雅樹、番場竹生

2) 乳腺外科

佐藤信昭、金子耕司、神林智寿子

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

① 患者数

のべ総入院患者数：130,748名

のべ総外来患者数：232,417名

② 許可病床数

450床

③ 2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	1,305件	
2014年	1,420件	
2015年	1,262件	
平均	1,362件	件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
消化管および腹部内臓疾患	775 件	46 件	75 件
乳腺疾患	307 件	0 件	0 件
呼吸器疾患	271 件	0 件	1 件
頭頸部・体表・内分泌外科	0 件	2 件	1 件
上記のうち鏡視下手術	222 件	12 件	32 件
	件	件	件
合 計	1,353 件	48 件	77 件

⑤取り扱っている疾患の特徴

がん専門治療施設のため、悪性腫瘍、とくにあらゆる臓器のがん治療を行っています。また、当院は平成19年1月に「都道府県がん診療連携拠点病院」として指定され、新潟県を中心とする北陸地方のがん診療の中心的な機能も担っております。現在では全19の診療科であらゆる種類のがん治療に一丸となって取り組んでいます。がんの治療は手術治療のみならず外来化学療法や放射線治療まで、集学的ながん治療による治癒を目指して日々取り組んでいます。また、がん治療を支える背景となる医療・就労・福祉などに関するさまざまな不安や悩みを解決すべく相談支援センターを設置し(平成26年度実績：13,631件)、外来通院患者さんを支える努力もしております。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:30-9:30	消化器外科・乳腺外科カンファレンス		■			■		
17:00-18:00	肝胆膵外科カンファレンス	■						
9:00-17:15	消化器外科外来	■	■	■	■	■		
18:00-18:30	消化器外科勉強会			■				
17:00-18:00	乳腺外科カンファレンス		■		■			
9:00-17:30	乳腺外科外来	■	■	■	■	■		
15:00-17:00	呼吸器外科カンファレンス		■					
16:00-18:00	呼吸器外科・内科・放射線科・病理カンファレンス			■				
9:00-17:15	呼吸器外科外来	■	■	■	■	■		
8:40-9:00	大腸外科カンファレンス			■				
17:00-18:00	消化器内視鏡カンファレンス							
10:00-17:15	手術	■	■	■	■	■		
16:00-17:00	キャンサーボード 第3火曜		■					
16:30-18:00	他施設メディカルカンファレンス				■			

4. 診療実績

代表例として胃疾患の手術症例と術式の内訳を示します。

疾患名	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
胃がん	243例	236	215	208	243
胃GIST	7	6	10	11	5
その他	13	13	14	3	1

術式	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
幽門側胃切除	121	97	97	91	69
胃全摘術	62	84	53	56	60
幽門保存胃切除	21	31	22	11	4
噴門側胃切除	11	5	9	10	13
胃部分・分節切除	8	3	4	7	9
腹腔鏡下胃切除	20	16	22	29	34
審査腹腔鏡	-	-	-	-	43
その他	20	19	32	18	18
合計	263	255	239	222	250

連携施設：いずみ記念病院

〒123-0653 東京都足立区本木 1-3-7

TEL 03(5888)2111, FAX 03(5888)2112

URL : <http://izumikinen.or.jp>

1. 地域における役割と施設の特徴

当院は急性期医療を行っているリハビリ病院です。急性期医療としては通常の内科診療、外傷・骨折等の整形外科診療、胃・大腸の内視鏡治療から消化器外科手術を行っています。救急医療では東京都二次救急医療指定機関で、地域救急医療センター・災害拠点連携病院でもあります。

リハビリでは回復期病床を 90 床有し、365 日リハビリを行っています。また、平成 26 年度から東京都地域リハビリ支援センターに認定されています。

2. 指導医・外科スタッフ（5名）

外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医 計 5 名

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

平成 26 年 総入院患者数 47,157 名、総外来患者数 61,157 名

平成 27 年 総入院患者数 45,742 名、総外来患者数 62,358 名

②許可病床数

急性期 54 床 回復期 90 床

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	106件	
2014年	76件	
2015年	567件	
平均	249件	件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
胃癌	10件	0件	10件
結腸癌	6件	0件	6件
直腸癌	4件	0件	4件
胆石	14件	0件	14件

鼠径ヘルニア	31件	15件	16件
急性虫垂炎	5件	3件	2件
その他消化管	2件	0件	2件
外傷	204件	204件	0件
呼吸器	8件	0件	0件
合 計	567件	222件	54件

⑤取り扱っている疾患の特徴

消化器では上下部及び胆道内視鏡検査、治療を積極的に行っています。

毎週火曜・水曜を手術日として予定手術を行っています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	外来診療	■	■	■	■	■	■	
14:00～17:00	外来診療	■	■		■		■	
9:00～17:00	手術		■	■				
9:00～13:00	上部消化管内視鏡検査	■	■	■	■	■		
14:00～17:00	大腸内視鏡検査・ERCP	■		■	■	■		

5. 診療実績

年間件数

消化器内視鏡検査・治療も数多く経験できます。

上部消化管内視鏡検査 1300件

大腸内視鏡検査 478件

ERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影) 54件

腹腔鏡下手術 15件

鼠径ヘルニア手術 31件

胃・大腸手術 20件

その他手術 499件

連携施設：滝不動病院

〒274-0813 千葉県船橋市南三咲 4-13-1

TEL 047(448)6881, FAX 047(449)2165

URL : <http://www.takifudo.jp/index.html>

1. 地域における役割と施設の特徴

来院された患者様に適切な医療サービスを提供します。

地域に根ざした皆様の主治医として、安心して受診していただけるよう努めます。

患者様と御家族に配慮して診療いたします

専門分野である肛門外科(肛門科)では一流の医療を提供いたします

近隣医療機関とネットワークを結び、連携しながら診療を行います

2. 指導医・外科スタッフ（3名）

外科医師 常勤2名、非常勤1名

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

総入院患者数（実数） 514人、総外来患者数（実数） 2797人

②許可病床数

一般病棟 30床、医療療養病棟 21床

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	97件	
2014年	89件	
2015年	95件	
平均	93件	93件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
大腸悪性腫瘍手術	5件	5件	0件
単径ヘルニア手術（直視下）	4件	4件	0件
気管切開術	1件	1件	0件
胃瘻造設術	6件	6件	0件
体表手術（皮下良性腫瘍摘出）	7件	7件	0件
肛門手術	72件	72件	0件
合計	95件	95件	0件

⑤取り扱っている疾患の特徴

肛門疾患（痔核、痔瘻、肛門周囲膿瘍など）を中心に消化器疾患一般を広く扱っています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9：00～12：00	外来診療		■	■	■	■	■	
13：00～14：00	内視鏡検査・手術		■	■	■	■		
14：00～17：00	外来診療		■	■	■	■		

5. 診療実績

2014 年実績を示します。

- ・肛門手術 72 件、大腸悪性腫瘍手術 4 例、単径ヘルニア手術（直視下） 4 例
- ・気管切開 1 例、皮下良性腫瘍摘出術（体表手術） 7 例

連携施設：流山中央病院

〒270-0114 千葉県流山市初石 2-132-2
TEL 047(154)6741, FAX 047(155)0450
URL : [http:// www.nch.or.jp](http://www.nch.or.jp)

1. 地域における役割と施設の特徴

人口約17万人の流山市には、手術を行える総合病院は当院を含め3病院しかなく、救急疾患・一般的な外科疾患から癌などの専門的治療まで多岐にわたる疾患に対する治療に従事しています。また3病院間および医師会、市の救急担当と年に2回会議を行い、外科疾患のみならず地域の病院としての連携や役割を検討しています。

当院は脳卒中センターを有しており、市外の東葛北部医療圏や埼玉県・茨城県など他県からも脳神経疾患の救急搬送を受け入れています。脳神経疾患の患者様は消化器疾患を有していることも多く、外科・消化器外科領域において連携して治療に当たっています。

また東葛北部医療圏では消化管出血に対する当番制度(GIB ネットワーク)があり、当院も積極的に参加し救急患者の受け入れや緊急内視鏡治療などで貢献しています。

2. 指導医・外科スタッフ（3名）

常勤；外科専門医2名、専攻医1名
非常勤；外科指導医3名

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

病院全体の2015年の総外来患者数は140,000名、総入院数は51,000名
外科外来患者数は8,053名、2015年の外科入院数は5,000名
外科外来は週6日で、20-30名/日

②許可病床数

病院全体は156床、うち回復期リハビリテーション病床は40床
外科・脳外科病棟は混合病棟で33床
平均で常時15名前後の入院患者数

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	138件	
2014年	221件	
2015年	169件	
平均	176件	176件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症 例	手術数	術者として	助手として
胃癌	10 件	5 件	5 件
大腸癌	20 件	10 件	10 件
肝胆膵の悪性疾患	3 件	1 件	2 件
鼠径ヘルニア	40 件	10 件	20 件
腹壁癒痕ヘルニア	2 件	2 件	5 件
胆嚢結石症・胆嚢炎	30 件	20 件	10 件
虫垂炎	10 件	8 件	2 件
イレウス	5 件	3 件	2 件
局麻手術	30 件	25 件	5 件
	件	件	件
合 計	150 件	94 件	56 件

⑤取り扱っている疾患の特徴

消化管・肝胆膵領域の悪性疾患や胆嚢結石症、鼠径ヘルニア（脱腸）、虫垂炎、痔等の一般外科疾患まで幅広くカバーしており、その診断から治療までを担当しているのが特徴です。

消化管出血や大腸ポリープ、早期胃癌・大腸癌に対する内視鏡治療も行っています。手術に関しては開腹手術に加え、胆嚢結石症や虫垂炎、鼠径ヘルニア、食道裂孔ヘルニア、比較的早期の胃癌や大腸癌等に対し積極的に腹腔鏡手術を導入しています。現在、全手術の約 6 割に腹腔鏡手術を行っています。また、消化器癌に対しては手術治療だけでなく、化学療法、緩和医療も含めた総合的な医療を行っています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:15- 8:30	病棟カンファレンス							
8:30- 9:00	回診							
9:00- 12:00	外来							
9:00- 12:00	上部消化管内視鏡検査							
14:00- 17:00	下部部消化管内視鏡検査							
13:00- 18:00	手術						△	
17:00- 18:00	回診							
13:00- 14:00	術前・術後カンファレンス							
10:00- 12:00	CV ポート造設							
13:00- 14:00	小手術							
9:00- 11:00	回診							

5. 診療実績

2014年の手術件数以外では、大腸ポリープ/腺腫/早期癌に対するポリペクトミー・EMRを125件・ESDを10件、胃腺腫・早期胃癌のEMRを3件・ESDを2件施行しています。

2015年の手術件数は169件で、うち全身麻酔症例が139例(腹腔鏡手術は74例に対して施行)でした。

連携施設：川口誠和病院

〒334-0074 埼玉県川口市江戸 3-25-46

TEL 047(154)6741, FAX 047(155)0450

URL : [http:// www.kawaguchi-seiwa-hp.com](http://www.kawaguchi-seiwa-hp.com)

1. 地域における役割と施設の特徴

川口市の地域関連病院として一次・二次救急医療を担っています。

また東京女子医科大学東医療センターの関連施設として、病病連携しています。

2. 指導医・外科スタッフ（3名）

常勤：外科専門医・指導医 1名

非常勤：外科専門医・指導医, 消化器外科専門医・指導医の計 3 名が手術や検査手技の指導を担当します。

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

のべ総入院患者数：31,388名

のべ総外来患者数：69,146名

常時、60名以上の患者の入院治療を行っています。

②許可病床数

60床

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	543件	
2014年	493件	
2015年	97件	
平均	394件	394件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
消化器疾患	41件	31件	10件
乳腺疾患	2件	2件	0件
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	29件	29件	0件
中心静脈用注射用植込型カテーテル設置	6件	6件	0件
合計	76件	66件	10件

⑤取り扱っている疾患の特徴

消化器疾患(内科・外科)、乳腺疾患を中心に診療を行っています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30	病棟回診							
8:30-12:00	外来診療							
8:30-12:00	病棟業務							
14:00-17:00	手術							
17:00-18:00	術前・術後カンファレンス							
17:00-18:00	X線読影カンファレンス							
9:00-12:00	上部消化管内視鏡検査・エコー							
14:00-17:00	下部消化管内視鏡検査							

5. 診療実績

- ・地域に根ざした外来・入院診療を行っています。
- ・一次・二次救急治療も積極的に診療していますが、治療困難例は東京女子医科大学東医療センターだけでなく、地域の中核病院とも連携し対応しています。
- ・外傷の縫合処置，内視鏡的治療(ポリペクトミー，胆管結石切石術)，CVポート挿入など小外科分野も多く経験できます。

連携施設：西新井ハートセンター病院

〒123-0845 東京都足立区西新井本町 1-12-8

TEL 03(5838)0730, FAX 03(5838)0731

URL：[http:// www.nishiarai-heart.or.jp/](http://www.nishiarai-heart.or.jp/)

1. 地域における役割と施設の特徴

当院は循環器疾患の診断と治療に特化した病院として平成 22 年 10 月 1 日に開院し、循環器内科医、心臓血管外科医を中心とする各種医療従事者が一丸となって迅速かつ機能的な診断、治療に取り組んでいます。当院の目標として「24 時間体制で充実した医療を地域の方々のために提供する」を掲げ実践しています。開院以来、地域の医療機関、救急隊との連携強化に努力するとともに在院日数の短縮化、経皮冠動脈形成術および心臓血管手術の量・質の向上に努めています。

2. 指導医・外科スタッフ（3名）

外科専門医・心臓血管外科専門医 2 名が専攻医の指導にあたります。

3. 患者数、病床数、3 年間の NCD 登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

のべ総入院患者数：31,388 名

のべ総外来患者数：69,146 名

常時、60 名以上の患者の入院治療を行っています。

②許可病床数

70 床

③2013-2015 年の NCD 登録数

	施設全体	経験可能数
2013 年	210 件	
2014 年	81 件	
2015 年	165 件	
平均	163 件	件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
心臓・大血管疾患	40 件	40 件	0 件
末梢血管疾患	106 件	106 件	0 件
その他	19 件	19 件	0 件
	件	件	件
合計	165 件	165 件	0 件

⑤取り扱っている疾患の特徴

急性期心疾患に対する心臓カテーテル検査・経皮的冠動脈形成術、下肢静脈瘤に対するアブレーションカテーテル治療、大血管疾患に対するステントグラフト内挿術や手術によるステント留置術、胸・腹部大動脈瘤手術、冠動脈バイパス術、心臓弁膜症に対する弁置換術など、内科的治療から外科的治療まで広く扱っています。

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	病棟業務	■	■	■	■	■	■	
9:00-12:00	外来診療			■				
13:00-17:00	外来診療	■				■		
10:00-17:00	手術		■		■			
17:00-18:00	術前・術後カンファレンス						■	
13:30-14:00	総回診				■			

5. 診療実績

地域住民のために献身し、地域と共に発展するという基本的立場に立ち、外来・入院診療を行っています。

1日平均外来患者数：71名/日

救急紹介専用回線(070-5266-9838)を通じ、救急紹介も積極的に受け入れている。

連携施設：東大和病院

〒207-0014 東京都東大和市南街 1-13-12

TEL 042(562)1411, FAX 042(562)1439

URL : [http:// www.yamatokai.or.jp/higashiyamato/](http://www.yamatokai.or.jp/higashiyamato/)

1. 地域における役割と施設の特徴

東大和病院は、東大和市において唯一の急性期医療を行っている地域中核病院です。救急医療を中心とした公益性の高い医療を提供し、医療スタッフを充実させ、チーム医療を重視し、地域医療に寄与してまいりました。現在も高度先進医療に取り組むべく日々精進しております。

2014年9月1日には当院附属セントラルクリニックを開設し、更なる近隣医療機関との医療連携を進めており、現在地域医療支援病院の取得を申請中であります。「病院完結型医療」から「地域完結型医療」への転換という時代の大きな流れの中で、真に地域の皆様から求められる病院となり、地域全体の医療体制の確立に貢献したいと考えております。

また附属セントラルクリニックには320列MDCTや3.0テスラMRI、姉妹病院である武蔵村山病院(300床)にはPET-CTや放射線照射装置などの高度医療機器を備えており、両病院は電子カルテで情報を共有し利便性を図っています。

チーム医療重視の観点から、臓器別に診療科を内科および外科で統合してセンター化していることが当院の特徴です。具体的には、心臓血管センター、消化器センター、脳神経センター、呼吸器センター、整形外科センター、腎泌尿器センターとして機能しています。また医療安全管理や感染防止対策、各種サポートチーム(栄養、呼吸、糖尿病など)も円滑に活動しています。

2. 指導医・外科スタッフ(9名)

外科学会指導医：5名 (心臓血管外科：2名、消化器外科：3名)

外科専門医：9名 (心臓血管外科：3名、消化器外科：5名、乳腺外科：1名)

心臓血管外科専門医：3名

消化器外科専門医：3名、乳腺専門医：1名

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数(のべ：2015年実績)

外来患者数は、病院およびセントラルクリニックの合計

消化器センター 入院：20,314人/年 外来：36,320人/年

心臓血管センター 入院：15,282人/年 外来：18,827人/年

呼吸器センター 入院：14,332人/年 外来：8,631人/年

②許可病床数

一般病床のみ：284床(病院全体)

消化器センター：60 床
 心臓血管センター：45 床
 呼吸器センター：40 床

③2013-2015 年の NCD 登録数

	施設全体	経験可能数
2013 年	577 件	
2014 年	576 件	
2015 年	663 件	
平均	605 件	件

(2015 年まで心臓・大血管および末梢血管領域の手術例は JACVSD に登録)

④症例別経験可能数 (術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載：2015～)

症 例	手術数	術者として	助手として
① 消化管および腹部内臓	440 件	120 件	320 件
a 食道	5 件	0 件	5 件
b 胃・十二指腸	45 件	5 件	40 件
c 小腸	20 件	5 件	15 件
d 大腸・肛門	140 件	20 件	120 件
e 肝臓・胆道・膵臓	90 件	30 件	60 件
g 腹腔・腹膜・後腹膜	120 件	55 件	65 件
i その他の消化器および腹部内臓	10 件	5 件	5 件
② 乳腺	10 件	0 件	10 件
③ 呼吸器	0 件	0 件	0 件
④ 心臓・大血管	80 件	10 件	70 件
⑤ 末梢血管	140 件	40 件	100 件
⑥ 頭頸部・体表・内分泌外科	0 件	0 件	0 件
⑦ 小児外科	0 件	0 件	0 件
⑧ うち内視鏡手術 (腹腔鏡・胸腔鏡)	230 件	100 件	130 件
合 計	660 件	170 件	490 件

⑤取り扱っている疾患の特徴

(1) 心臓血管外科

虚血性心疾患、心臓弁膜症、胸部および腹部大動脈疾患、成人先天性心疾患、末梢血管疾患など

(2) 消化器外科・乳腺外科

大腸がん、胃がん、乳がん、食道がん、膵がん、肝がんなど
 イレウス、虫垂炎、胆石症、ヘルニア (成人) など

(3) 呼吸器外科

自然気胸、肺がんなど

4. 週間スケジュール

時 間	内 容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	心臓血管センター合同カンファレンス・回診							
16:30～17:00	心臓血管センター合同カンファレンス・回診							
16:00～16:30	心臓血管外科術前カンファレンス							
9:00～17:00	心臓血管外科手術日							
8:00～8:30	消化器センター合同カンファレンス							
8:00～8:30	消化器センター合同回診							
13:00～13:30	消化器外科術前カンファレンス							
9:00～17:00	消化器外科手術日および検査日							

5. 診療実績

(1) 心臓血管外科

虚血性心疾患（冠動脈バイパス術・左室形成術）、心臓弁膜症（弁置換術・弁形成術）、胸部および腹部大動脈疾患（人工血管置換術・ステントグラフト挿入術）、成人先天性心疾患、不整脈（メイズ手術）、ペースメーカー移植術、末梢血管疾患（人工血管バイパス術・血管内治療とのハイブリッド手術）、透析シャント作成術

(2) 消化器外科・乳腺外科

大腸がん、胃がん、乳がん、食道がん、膵がん、肝がんに対する手術
腹腔鏡下手術は胆嚢摘出術、虫垂切除術、結腸切除術、幽門側胃切除術、鼠径ヘルニア根治術など 2015 年は手術全体の約 60%

(3) 呼吸器外科

自然気胸、肺がんに対する胸腔鏡下手術

(4) 小児外科

他の領域で認められている 16 歳未満の手術

(5) 頭頸部・体表・内分泌外科

当院では大半が皮膚軟部組織であり形成外科が担当していますが研修可能です。

*当院としての総括：

呼吸器外科ならびに小児外科の領域で、手術手技の最低症例数（各 10 例）のクリアは困難かもしれません。

連携施設：彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-0804 埼玉県さいたま市土呂町 1522

TEL 048(665)6111, FAX 048(665)6112

URL : <http://www.shmc.jp>

1. 地域における役割と施設の特徴

埼玉県がん診療指定病院としてがん診療に重点をおくとともに救急医療にも力をいれています。平成 27 年 7 月に新築移転，さいたま市初の緩和ケア病棟を開設し，手術室，ICU，放射線治療，PET-CT その他最新の医療設備を備えています。

2. 指導医・外科スタッフ（9名）

外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医を有するスタッフ9名が専攻医の指導にあたります。

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の特徴

①患者数

外来 705 人/日

入院 281 人/日（いずれも平成 26 年度）

②許可病床数

337 床

③2013-2015 年の NCD 登録数

	施設全体	経験可能数
2013 年	625 件	
2014 年	792 件	
2015 年	1,030 件	
平均	816 件	件

④症例別経験可能数（術者もしくは助手として経験可能な手術数を記載）

症例	手術数	術者として	助手として
胃切除（開腹）	6 件	5 件	1 件
胃切除（腹腔鏡）	30 件	6 件	11 件
結腸切除（開腹）	10 件	4 件	1 件
結腸切除（腹腔鏡）	55 件	3 件	16 件
肝切除（開腹）	14 件	2 件	12 件
肝切除（腹腔鏡）	4 件	0 件	4 件
膵切除	16 件	0 件	16 件
鼠径ヘルニア	171 件	10 件	11 件
胆嚢摘出	84 件	18 件	16 件

乳腺手術	36件	0件	17件
虫垂切除（腹腔鏡）	70件	16件	9件
肺切除（胸腔鏡）	11件	1件	0件
その他	73件	16件	20件
合計	580件	81件	134件

（2015年1月～12月までの1名の派遣医師の経験症例）

⑤取り扱っている疾患の特徴

消化器手術に対する腹腔鏡手術を積極的に施行しています。このうち腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の症例数は全国有数です。

4. 週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
15:30-16:00	病棟カンファレンス							
16:00-17:00	手術カンファレンス（放射線科合同）							
17:00-18:00	消化器カンファレンス（外科・消化器内科合同）							
9:00-17:00	手術							
18:00-19:00	肝臓カンファレンス（外科肝胆膵チーム・肝臓内科）							
8:30-9:00	病棟回診・病棟業務							
9:00-12:00	外来診療							

5. 診療実績

肝胆膵外科高度技能専門医 1名、内視鏡外科技術認定医が4名在籍し、消化器悪性腫瘍全般の手術を行っています。胃癌・結腸癌・直腸癌に対しては腹腔鏡手術を積極的に施行しており、近年では腹腔鏡下肝切除も施行しています。一次・二次救急にも力をいれており、胆嚢結石、虫垂炎などの良性疾患・気胸、消化管穿孔、腸閉塞などの緊急手術も多く経験できます。また、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の症例数は全国有数で、他施設からの手術見学も受け入れております。

連携施設：三和病院

〒270-2253 千葉県松戸市日暮 7-379

TEL 047(712)2253, FAX 047(712)0200

URL : <http://www.sannwa-hsp.or.jp>

1. 地域における役割と施設の特徴

地域の要、乳腺センターの役割として以下があげられます。

- ① 乳がんを始めとする乳腺の様々な病気の診断と治療
- ② 形成外科との連携による乳房再建術
- ③ 術後のリハビリテーション科との連携による患者サポート
- ④ 初の松戸市乳がんマンモグラフィー市検診の受託
(同法人：八柱三和クリニック来年4月からは三和病院でも受託開始)
- ⑤ 乳がんの正しい知識の発信

2. 指導医・外科スタッフ（2名）

外科専門医・指導医、消化器外科専門医、乳腺専門医が専攻医の指導にあたりま
す。

3. 患者数、病床数、3年間のNCD登録数、症例別経験可能数、取り扱っている疾患の 特徴

①患者数

のべ総入院患者数：12,464名

のべ総入院患者数：43,857名

②許可病床数

50床

③2013-2015年のNCD登録数

	施設全体	経験可能数
2013年	病院新設	
2014年	76件	
2015年	319件	
平均	197件	件

(参考 2014年8月1日開院のため2014年より登録, 2015年実績280件)

④症例別経験可能数（術者または助手として経験可能な手術数を記載：2015年～）

症例	手術数	術者として	助手として
乳がん	250件	100件	150件
乳房再建	10件	3件	7件
鼠径ヘルニア	4件	4件	0件

大腸がん	4件	4件	0件
良性乳腺腫瘍	10件	10件	0件
	件	件	件
合計	280件	121件	159件

⑤取り扱っている疾患の特徴

乳腺疾患が約90%、消化器外科疾患が約10%の割合となっています。

4. 週間スケジュール

時間/内容	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00 外来 14:00-17:00 手術	■						
9:00-12:00 外来 14:00-病棟業務		■					
9:00-12:00 手術 14:00-17:00 手術			■				
9:00-12:00 外来 14:00-17:00 手術					■		
9:00-12:00 外来						■	

5. 診療実績

2014年8月1日(開院)～2015年7月31日 乳がん手術 276件
2016年1月1日～2016年12月31日 乳がん手術 305件